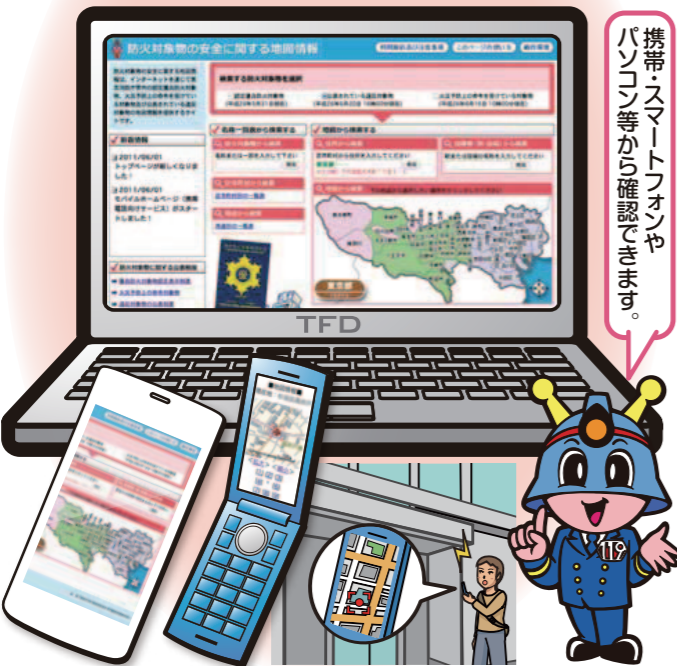


身近な安心・安全対策を確認しましょう!!



# 建物の 優良・違反 情報を発信中!

携帯・スマートフォンやパソコンから防火上優良な建物(優マーク)や消防法令違反がある建物を東京消防庁ホームページ「防火対象物の安全に関する地図情報」で検索・確認できます。また、建物の優良・違反情報は各消防署の窓口でも閲覧できます。



携帯・スマートフォンやパソコン等から確認できます。

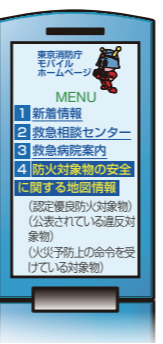
## このビル大丈夫?... そうと思ったら すぐ検索!

東京消防 検索

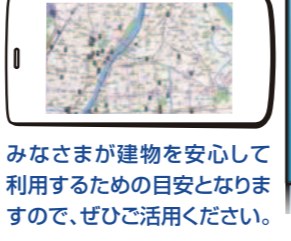
1 携帯・スマートフォンは、右にあるバーコードからアクセス! パソコンからは「東京消防」で検索!



2 住所、建物名称などを入力して検索をします。(携帯電話版はメニューの防火対象物の安全に関する地図情報を選んでから)



3 優マークの建物や消防法令違反がある建物の情報と地図が確認できます。



みなさまが建物を安心して利用するための目安となりますので、ぜひご利用ください。

## 建物の防火安全性を示す! 優マーク制度

建物の防火安全性の向上のための取組を消防署長が評価し認定する制度です。認定を受けた建物は、「優マーク」を建物の見やすい場所などに表示できます。

優マーク認定された建物では、過去大きな火災が起きておらず、火災による被害が小さいという実績があります。安全・安心な建物の目印としてご利用ください。



### 優マークを表示している建物とは?

- 継続的に消防法令を守っている。
- 万が一の時も従業員などによる安心な対応ができる。
- 法令基準以上の防火への取組を行っている。



## 違反状態の建物が分かる! 公表制度

立入検査で把握した消防法令違反のある建物を公表する制度です。

違反のある建物を公表することで、建物関係者の自発的な防火対策への取組を促します。みなさまが建物を安心して利用するための目安として、ご利用ください。



### 公表されている建物とは?

- スプリンクラーなどの必要な設備が設置されていない。
- 防火管理者がいない、避難訓練を実施していないなどの違反が繰返し指摘されている。



# 身近な電気火災 を防ぎましょう!

電気火災の死者の7割が高齢者です!

平成25年中の火災件数は、5,191件でした。そのうち電気に関連した火災は1,111件発生し、全体の2割以上を占めています。死者は21人で、そのうち高齢者は15人であり7割以上を占めています。

暮らしの中でよく使う電気製品の誤った使い方や、使用環境の問題で出火した事例を取り上げてみました。それぞれの火災予防のポイントを参考に、身近な電気火災を防ぎましょう。



## 電子レンジからの火災



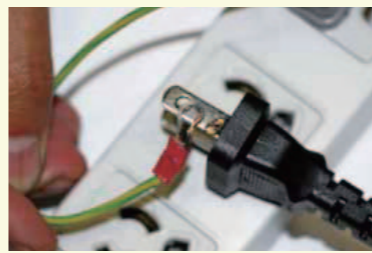
電子レンジでは調理できない包装や容器で加熱したため、包装内部のアルミ等が電磁波によりスパークし出火しました。

### 電子レンジ火災予防のポイント

- 1 加熱する商品の包装等に記載された説明書きで調理方法を確認しましょう。
- 2 電子レンジを安全に使用するために、取扱説明書を確認しましょう。



## プラグからの火災



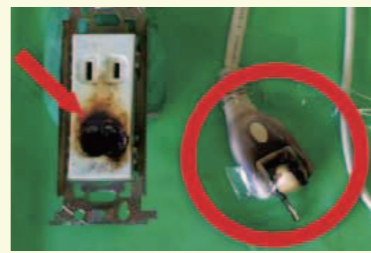
プラグをテーブルタップに差し込む際に、隣のプラグについていたアース線を挟み込んでしまい出火しました。

### プラグ・コンセント等火災予防のポイント

- 1 テーブルタップやコンセント周りは整理し、プラグを差し込む際は、アース線などの挟み込みに十分注意しましょう。
- 2 プラグやコンセントは、表示された電気容量以内で使用し、汚れやホコリの溜まり、その他の異常がないか定期的に確認しましょう。
- 3 コードを踏みつけたり、束ねたまま使用しないようにしましょう。



## コンセントからの火災



コンセント内部の受刃が緩んだ状態でプラグを差し込んだため、コンセント内部の受刃とプラグの間で電気が流れにくくなり、加熱し出火しました。